

<報道資料>

記事 1 件あたりの平均スペースは 196.5 cm²
主要企業 120 社の記事約 13 万件で計測

広報支援会社の㈱タカオ・アソシエイツ（東京都千代田区、社長：高雄宏政）は、2010年～2014年の5年間に掲載された主要企業約120社の記事約13万件を分析した結果、記事1件あたりの平均スペースは196.5 cm²であること、記事内容は製品を紹介した記事が24%と最も多いこと、論調判断ではプラス記事が約2割あることなどを計測し、このほど発表しました。

これは、当社の顧客およびベンチマーク企業122社（一部上場企業または業界を代表する企業）の直近5年間の単独主役記事13万5,507件の調査結果を集計したもので、記事1件あたりの平均スペースは、活字や行間の拡大、特集記事の増加、紙面のビジュアル化などにもとない年々拡大する傾向にあり、2005年は記事1件あたりのスペースが147.1 cm²であったものが、2014年には同196.5 cm²と33.6%も大きくなっています。（参考資料①）

記事内容については、「経営情報」「事業情報」「社会情報」の3つの大項目にわけるとともに、各分野ごとに4つ、合計12の小項目をつくり、記事を分類したところ、新製品や事業の動向などを取り上げた「製品事業」が24.0%、業界動向や 이슈、特定の企業などにスポットを当てた「解説論評」が15.8%、経営方針や業務提携などを扱った「経営戦略」が9.0%で、これら3項目で記事全体のほぼ半数を占めていることが分かりました。（参考資料②）

論調判断は、主要企業122社の直近5年間の単独主役記事13万5,507件のトーンを、読者の目線に立って好印象を与えると思われる「プラス記事」と、ネガティブな報道である「マイナス記事」、そしてニュートラルな「一般記事」に区分し、集計したところ、プラス記事は記事全体の19.9%、一般記事は71.3%、マイナス記事は8.7%でした。

企業が配信するニュースリリースがどのくらいの割合で記事になったかを調べると、主要企業グループ55社の直近5年間の情報発信1万540本のニュースリリースのうち、記事になった割合（ヒット率）は41.6%でした。また、リリース情報が当該企業の記事全体に占める割合（アウトプット占有率）は36.9%でした。（参考資料③）

経営トップの露出状況を調べると、主要企業グループ55社の直近2年間の記事5万1,750件に露出した経営トップ126名（会長、社長、中核子会社のトップを含む）の記事は、脇役参考記事（氏名のみ掲載など）を含めて7,756件で、記事全体の15.0%でした。また、その記事の扱いは、記事中にその人物のコメントが掲載されているものが29.2%、決算発表や新製品発表会などでの露出が14.1%、インタビュー記事が7.5%、その他（氏名だけの掲載なども含む）が49.1%となっています。

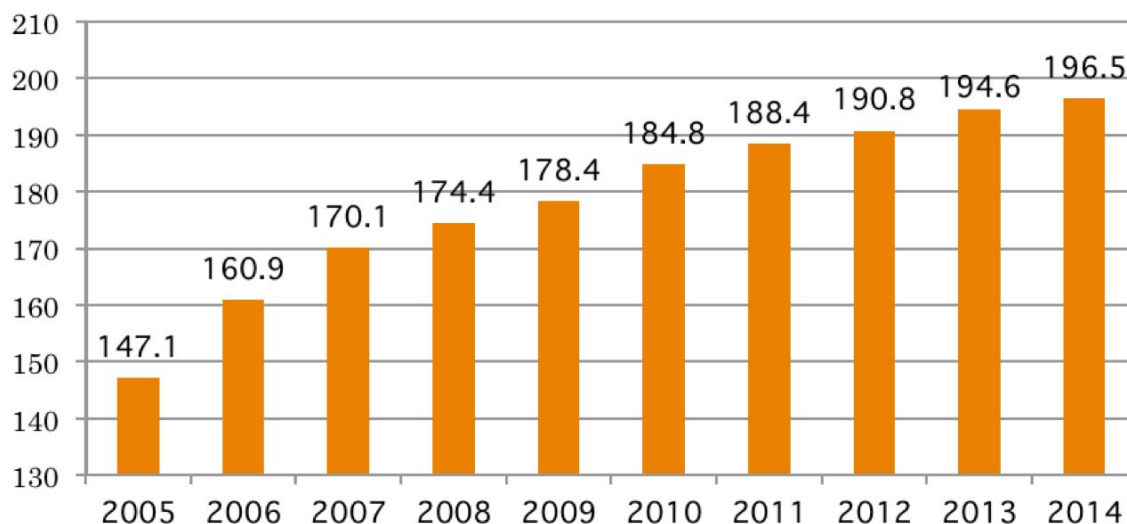
<調査企業>

食料品、繊維製品、化学、医薬品、金属製品、電気機器、輸送用機器、精密機器、その他製品、証券・金融・保険、不動産、運輸、情報・通信の122社

<調査媒体>

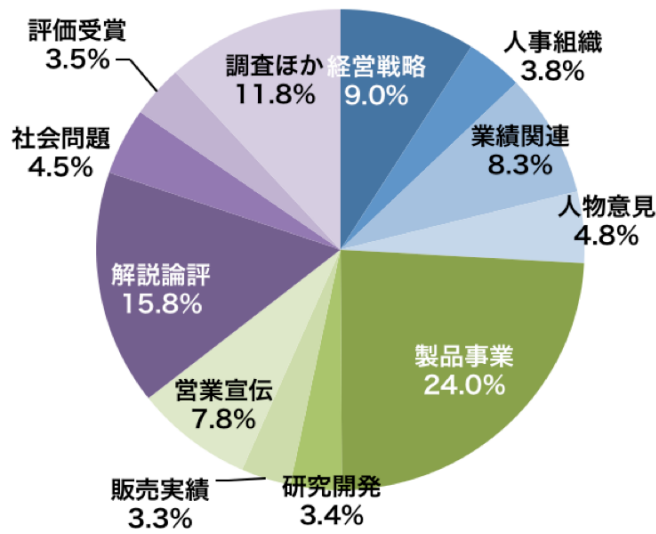
朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、産経新聞、北海道新聞、東京新聞、中日新聞、西日本新聞、河北新報、京都新聞、神戸新聞、中国新聞、日経産業新聞、日刊工業新聞、フジサンケイビジネスアイ、日経MJ、日経ビジネス、週刊ダイヤモンド、週刊東洋経済、プレジデントの21紙・誌

<参考資料①> 記事1件あたりの平均スペースの推移



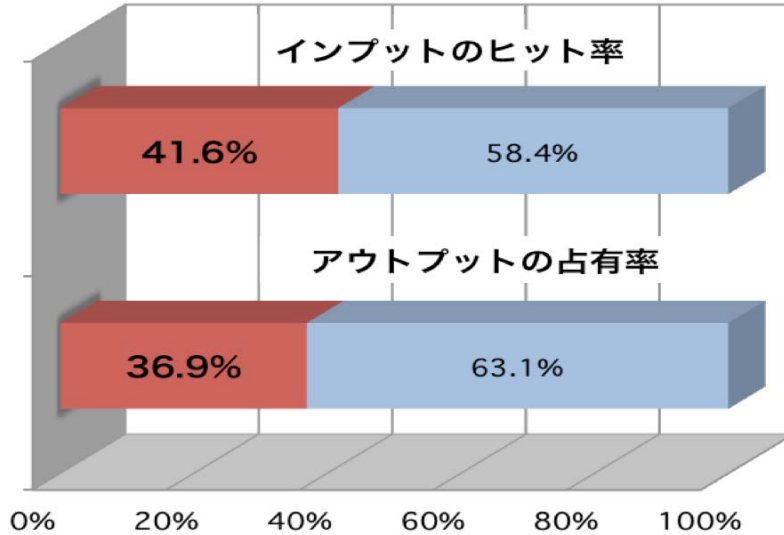
※年ごとに直近5年間の単独主役記事を集計。2014年は13万5,507件の記事に基づく平均スペース。

<参考資料②> 記事内容の平均的な割合



※主要企業 122 社の直近 5 年間に報道された 17 万 611 件の記事 (Web のニュースサイトを含む) の内容分類。その企業独自の内容項目は類似項目に算入。

<参考資料③> 記事内容の平均的な割合



※主要企業グループ 55 社の直近 5 年間の情報発信 (ニュースリリース) 1 万 540 本における割合

この件に関するお問い合わせ先
 株式会社タカオ・アソシエイツ 業務管理部 飯岡
 東京都千代田区神田錦町 3-14-3 錦町ビル 3F
 電話 03-3296-0768